第16回ひたち水ロケット大会開催

10月28日（土）、第16回ひたち水ロケット大会が昨年に続き日立市市民運動公園陸上競技場において開催されました。2回目とあって早朝からの準備もスムーズに進行、出されていた雷注意報に神経を尖らせながら大会が幕を開けました。

大会の運営は、検温や手の消毒等新型コロナの感染にも注意を払いながら行いました。参加者は、46名と昨年を上回り、主催する側としても力が入ります。開会式では、来賓を代表して日立市教育委員会折笠教育長より激励のご挨拶をいただき、会場は一気に競技モードとなりました。

上空高く次々に飛び立つ3機のデモフライトロケットに場内から歓声が上がります。いよいよ競技開始です。飛んだ距離を競う「飛距離部門」には46名、水ロケットを上方に打上げ、パラシュートが上空で開いて降下する時間を競う「滞空時間部門」には9名のエントリーがありました。水ロケット内の設定圧力は昨年と同じ6気圧、「飛距離部門」では、途中で失速するロケットは皆無で追い風に乗って大飛行が続出、優勝記録も昨年を10m上回る153mとなりました。2機同時発射で行われ、2つのロケットが競い合いながら放物線を描き飛行する姿は壮観で、観覧席からは大きな声援が送られました。「滞空時間部門」では、パラシュートがうまく開かないロケットもありましたが、上空を優雅に舞うパラシュートに会場が釘付けとなりました。

心配された雷も競技中は遠慮したのか、競技終了に合わせるかのように上空は黒い雲に覆われ、大粒の雨が降り出しました。来場者は一斉に競技場建屋の軒下に避難、狭い空間での表彰式を余儀なくされましたが、参加者は誰もがやり終えた充実感に満ちていました。3位までに表彰状と副賞、さらに金、銀、銅のメダルが授与され、その他入賞者には賞品が贈られました。そして、参加者は、参加賞と記録証を受取り、思い出が詰まった水ロケットを抱えて家路につきました。

最後に雷雨に見舞われ残念でしたが、市民運動公園の職員の方から、水ロケットの迫力に圧倒された旨のご意見をいただきました。来年は、水ロケット大会を多くの市民にも楽しんでもらえるよう一般公開することも考えてみたいと思います。

競技結果は下表のとおりです。

《競　技　結　果》

競技区分	順　位	氏　名	なまえ	学校名	学年	記　録	備　考
飛距離部門（出場46名）	優　勝	藤川　咲来	ふじかわ　さくら	会瀬小	2年	153.10 m	日立市教育長賞
	準優勝	工藤　透也	くどう　とうや	諏訪小	4年	146.20	日立事業所長賞
	第3位	高野　蒼太	たかの　そうた	会瀬小	4年	144.00	日立理科クラブ賞
	第4位	栗原　涼	くりはら　りょう	会瀬小	4年	143.75	
	第5位	沈知　勲	しむ　じふん	諏訪小	4年	142.30	
	第6位	橋本　悠希	はしもと　ゆの	会瀬小	3年	141.70	
	特別賞	佐藤　和瑳	さとう　かずさ	聖児幼稚園	年長	133.50	よくとんだでしょう
	特別賞	鈴木　一生	すずき　いっせい	幼稚園	4歳	119.40	よくとんだでしょう
滞空時間部門（出場9名）	優　勝	米澤　駿	よねざわ　しゅん	助川小	1年	26.9 秒	日立市教育長賞
	準優勝	野々山　綜亮	ののやまそうすけ	大久保小	3年	17.4	日立事業所長賞
	第3位	澤畠　大知	さわはた　たいち	中里小	2年	17.2	日立理科クラブ賞
	第4位	谷中　陽	やなか　はる	水戸附属小	5年	14.5	
	第5位	佐藤　和瑳	さとう　かずさ	聖児幼稚園	年長	9.1	

全員集合（競技参加者と家族は観覧席で）

受　付

機体検査

青空の下での開会式

開会式 －折笠教育長ご挨拶－

２機同時に”発射！“（飛距離競技）

２機同時飛行（飛距離競技）

“発射！”（滞空時間競技）

上空を優雅に舞うパラシュート（滞空時間競技）

迫り来る雷雲

軒下での表彰式（1）

軒下での表彰式（2）

参加賞と記録証を受取り家路へ